

## 第267回 番組審議会

1. 日 時 平成29年11月14日（火）12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 8名  
出席委員数 7名（欠席委員数 1名）

### ○ 出席委員（敬称略）

鈴木 厚人（委員長）  
砂子田 智（副委員長）

—以下50音順—

石田 征広  
加藤 裕一  
久慈 浩介  
菅原 正二  
役重 真喜子

### ○ 会社側出席者（8名）

藤澤 利憲（代表取締役社長）  
小原 忍（取締役副社長）  
藤原 銀司（常務取締役）  
前田 秀男（取締役技術局長）  
工藤 浩（取締役東京支社長）  
高嶋 昇（取締役営業編成局長）  
近谷 利政（報道制作局報道部長）  
米澤 かおり（報道制作局報道部）

### ○ 事務局 佐々木 久仁子

#### 4. 議題 『mit みんなのニュース』ローカル部分

平成29年10月23日(月) 18:14～18:50

#### 5. 議事概要

今回は、10月23日月曜日午後6時14分から放送の『mit みんなのニュース』のローカル部分を審議しました。議事の概要は、以下の通りです。

##### ●岩手めんこいテレビ報道部長 近谷利政からの説明

・10月23日は、前日が衆議院選挙の投開票日で、当日は台風21号が再接近するという特別な日だった。そのため朝5時25分から午後7時まで、画面の左側と下部にL字で避難情報や警戒情報を流した。

・「mit みんなのニュース」は、他局より1分早くローカルニュースがスタートすることを伝えるため幼稚園や保育園の子どもたちに「6時14分」と言ってもらうタイムコールでスタート。続いて、視聴者に早い段階で興味を持ってもらえるように、その日伝える主なニュースを「きょうのニュースのラインナップ」として紹介している。23日は、気象情報や災害は県民の命や生活を脅かすもので、視聴者にとって関心の高い話題ということから選挙ではなく台風情報をトップに持ってきた。また、気象予報士の吉田裕美さんは、出演の無い日だったが、急遽出演してもらい諸々解説をしてもらった。本来であれば、選挙について記者解説をして、分析ができれば深みのあるニュースになったのではないかと反省している。

##### ●岩手めんこいテレビ報道部 米澤かおりアナウンサーからの説明

・スタジオでのコメントの効果は、2つあると考えている。1つは、情報を補足することでその内容、理解をより深めてもらえること。もう1つは、視聴者の気持ちや感想を代弁することで共感してもらえること。

・この日は、台風21号が最接近した日だったが、災害情報で大事にしていることは正確性と速報性。視聴者の命にも関わる大事な情報なので間違いの無いよう細かく確認して、L字や速報スーパーを使って、いち早く伝えることを意識している。全てのニュースに共通することだが、固有名詞や数字をはっきり、そしてゆっくり話して、分かりやすい報道を心がけている。

## ●出席した委員からの意見

- ・選挙翌日の取材だったが、県内各地に人を配置し、台風について分りやすく伝えていた。
- ・台風をトップに持ってきたことは大正解。選挙については、前日いろいろ見て、解説も聞いているので、あの程度でちょうど良かった。
- ・野田村、江刺市、久慈市、釜石市など岩手県内各地に行って、丁寧に取材していた。
- ・気象予報士の吉田裕美さんは、安定していて説明のレベルが高く、聞きやすいと感じた。
- ・L字放送を見るとどうしても東日本大震災を思い出す。L字放送にして被害がないことはいいことなんだから、やるのは正しいと感じた。
- ・L字放送に避難情報、警戒情報が出ているが、そこにタイムラグがあつて違和感があつた。台風が去り、晴れ間が出てきてニュースのトーンが明るくなつても「避難準備」と出ている。若干、説明が必要だと思った。
- ・土壌の水分量が土砂災害で重要なメルクマークになるが、そのことで注意喚起をしていたのは、大事なところなので良かったと思う。
- ・産直シリーズは、良かった。場所の情報が最後に出てきたが、最初にも出した方が良かったのではないか。
- ・道路が半分抜けている映像があつたが、具体的な場所が分らなかった。通行止めになっていたり、氾濫している場所などの道路情報を提供してもらいたい。
- ・選挙のニュースで同じ人の万歳シーンを2度使っていた。2度使わなくても良かったのではないか。
- ・キャスターが、子どもに対し「尊敬しました」と言っていたが、その言葉の使い方が気になった。また、「後ろの園児が見えなくならないように気をつかって手を振っている」と言ったが、そこまで解説する必要はないと感じた。

・台風が通過したのであれば、通過後の現場の映像が映し出されれば「もう安心」と実感できるのではないか。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成29年11月15日(水) 産経新聞 東北版

※平成29年11月25日(土) 午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ番審リポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

※次回は、平成30年1月9日(火)12時より当会場にて開催予定です。